

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	運動学1	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書は「運動学」を持参する。必要に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	後藤 勝正		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
取得を目指す柔道整復師免許が医療資格であることを十分認識し、資格取得後に患者の患部へ施術をすることを業務とするため人体の構造と機能を熟知する必要がある。運動学は人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である。運動障害をもつ患者を診て治療を行うためには、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備えていなければならない。運動学を理解することで外傷・障害への手当てを担う専門家として国民の健康保持に寄与することができる人材育成がねらいである。					
到達目標					
運動機能の障害による異常運動とその度合いは、正常運動からの逸脱とその程度としてとらえられる。運動機能の障害を扱うとき、医学における診断にあたるものは、運動分析に基づく評価である。正常運動を基準値として障害の度合いを正確に分析した結果をもとにして治療が展開される。この科目では、柔道整復の特性を考慮して、骨・関節・筋の構造と機能に重点をおきつつ、運動学による姿勢や歩行の評価を学ぶことで医療現場における患者への指導管理の土台を形成することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である運動学を学ぶことで、運動障害をもつ患者を診て施術を行うための、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備える能力を育成する。				
注意点	国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	運動学とは（身体運動と力学①）		身体運動に関する力（ベクトルなど）について理解する		
2回	運動学とは（身体運動と力学②）		人体における単一機械構造（第1～第3のてこなど）について理解する		
3回	運動学とは（身体運動と力学③）		運動の法則（第1～第3法則）について理解する		
4回	運動学とは（身体運動と力学④）		仕事と力学的エネルギーについて理解する		
5回	骨・関節・筋の構造と機能		各基本構造・構成成分・発生と成長や分類について理解する		
6回	神経の構造と機能 運動感覚		神経細胞・末梢神経・中枢神経について理解する		
7回	反射と随意運動①		反射運動の特徴と反射の種類について理解する		
8回	前期7週までの振り返りと確認演習		1回～7回までの蓄積されているか確認する		
9回	反射と随意運動②		連合運動と共同運動や随意運動について理解する		
10回	姿勢①		姿勢の分類、重心について理解する		
11回	姿勢② 歩行①		立位姿勢と歩行における歩行周期について理解する		
12回	歩行②		歩行の運動学的分析や運動力学的分析について理解する		
13回	歩行③		歩行時の筋活動・エネルギー代謝や異常歩行について理解する		
14回	前期13週までの振り返りと確認演習		9回～13回までの知識が蓄積されているか確認する		
15回	まとめ		半期で取得した知識の確認		